

# 第101回 相模湖地区まちづくり会議 全体会 結果

- 日 時 令和8年2月19日(木)・19時開会
- 場 所 相模湖総合事務所 3階 大会議室
- 出席委員数 20名出席(3名欠席)
- 傍 聴 者 0名

## 1 開会

## 2 代表あいさつ

## 3 各部会からの報告について

### (1) 産業・観光専門部会

吉良部会長から、1月25日に開催した第2回相模湖の歴史物語セミナーについて報告を行った。参加者が49名。アンケートでは参加者中6割の方が満足したとの回答を頂いた。

### (2) 子ども・若もの専門部会

#### ・子ども・若もの専門部会

川村部会長から、「放課後の子どもたちの居場所について」をテーマとした勉強会を開催することについて報告を行った。

担当課である放課後児童対策課、こども施設課、こども・若者応援課の担当者を呼んで対話することとなった。

## 4 報告事項

### (1) 第9期相模湖地区まちづくり会議委員について

#### ア 委員を推薦する団体について

○事務局から標記の件について添付資料のとおり説明。

\*各委員からの主な意見・質問(◇主な意見・質問等、◆回答等)

◇相模原市消防団相模湖方面隊を加えてほしい。

◆それについては、会則に沿って次回の役員会にて協議させていただく。

ただし、令和4年5月末まで参加していて、一度まちづくり会議から抜けた経過があったことはこの場にて説明させていただく。

#### イ 委員の確認について

○事務局から標記の件について添付資料のとおり説明。

## 5 協議事項

### (1) 令和8年度地域活性化事業交付金の申請に係る意見について

○継続事業4件については事務局から事業の目的、内容等について説明、委員が質問、協議し、里山未来デザインプロジェクト@石老山以外は承認された。里山未来デザインプロジェクト@石老山については指摘事項を修正後、代表、副

代表が確認し、承認を行うこととなった。

	交付年数	事業名	交付団体名
1	3年目	小原地区元気いっぱい花いっぱい環境整備事業	小原草木会

\*意見等特になし。

	交付年数	事業名	交付団体名
2	2年目	阿津さくら保全・活性化事業	阿津さくら自然を守る会

\*意見等特になし。

	交付年数	事業名	交付団体名
3	2年	里山未来デザインプロジェクト@石老山	自然バカの会

\*各委員からの主な意見・質問（◇主な意見・質問等、◆回答等）

◇昨年度「交付金がなくなった後も活動を継続するために自前の資金も用意すべきと考える。」と指摘していたがある程度は自分たちで用意してもらうべきだと考える。

◆こちらについて団体にお伝えします。こちらについて代表、副代表に納得できる回答がいただけたら承認するというところでよろしいですか。

◇それがかまわない。

	交付年数	事業名	交付団体名
4	3年目	『小原の奴』継承事業人材育成事業	甲州街道小原宿本陣奴会

\*意見等特になし。

## (2) 令和8年度地区まちづくりを考える懇談会について

○事務局から標記の件について添付資料のとおり説明し、(案)のとおり承認された。

## 6 その他

### (1) 相模湖芸術・文化のまちづくり実行委員会アンケート資料について

○山口委員から標記の件について添付資料のとおり説明した。

\*各委員からの主な意見・質問（◇主な意見・質問等、◆回答等）

◇あまり、そちらの活動が地域に浸透していない実感がある。

◆こちらも地域に浸透していない実感はあるので、これからも浸透していくように努力していく。

◇アンケートの回収数が少ないのでは。

◆地域への回覧等も行い、紙の回収、データでの回答どちらもできるようにしていたが、振るわない結果となってしまった。

- ・竹内委員から次年度以降の方針について話す機会が欲しいと要望があった。4月のまちづくり会議にて扱うこととなった。

## 7 閉会

以 上

# 第101回 相模湖地区まちづくり会議全体会 次第

日時：令和8年2月19日（木）  
午後7時～

場所：相模湖総合事務所3階大会議室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 各部会からの報告について

### (1) 産業・観光専門部会

### (2) 子ども・若もの専門部会

## 4 報告事項

### (1) 第9期相模湖地区まちづくり会議委員について

#### ア 委員を推薦する団体について

#### イ 委員の確認について

## 5 協議事項

### (1) 令和8年度地域活性化事業交付金の申請に係る意見について

### (2) 令和8年度地区まちづくりを考える懇談会について

## 6 その他

### (1) 相模湖芸術・文化のまちづくり実行委員会アンケート資料について

## 7 閉 会

## (1) 第9期相模湖まちづくり会議について

### ア 委員を推薦する団体について

分野等	選出上限	現在人数	所属団体	氏名
自治会関係	4	2	相模湖地区自治会連合会	森久保 高弘
			相模湖地区自治会連合会	岸 義之
保健・福祉 関係団体	5	3	相模湖地区民生委員児童委員協議会	原田 勲
			相模湖地区社会福祉協議会	岩間 肇
			相模湖地域包括支援センター	和田 理江
産業・経済 関係団体	5	4	相模湖商工会	山口 進司
			相模湖商工会 女性部	淵上 美紀子
			一般社団法人 相模湖観光協会	佐藤 和仁
			与瀬商栄会	岸野 和広
教育・スポーツ ・文化関係団体	10	6	相模湖地区公民館運営協議会	鈴木 克枝
			相模湖地区小学校PTA「桂北小学校」	加藤 千晶
			相模湖地区小学校PTA「千木良小学校」	榎本 知代
			相模湖地区小学校PTA「内郷小学校」	能村 俊貴
			相模湖地区小学校PTA「北相中学校」	山本 信宏
相模湖地区小学校PTA「内郷中学校」	川上 はぎ乃			
安全・安心 関係団体	2	1	緑区安全・安心まちづくり協議会相模湖支部	小川 達雄
地域活性化事業交付金交付団体	5	2	さがみ湖コンシェルジュ	吉良 奈美乃
			サントクロースプロジェクト	河津 暁
公募委員	5	5	公募委員	川村 千穂子
			公募委員	植田 聡子
			公募委員	小瀧 俊
			公募委員	竹内 僚
			公募委員	松本 瑞木

#### 1. 会則について

相模湖地区まちづくり会議会則第4条別表にて各分野の団体推薦委員と公募委員の選出人数の上限を定めている。

「委員を推薦する団体は、その都度、役員会に諮って定めるものとする」

#### 2. 委員推薦団体の変更について

委員を推薦する団体を追加すべきではと提案があった。

また、その他にも地域活性化事業交付金活動団体の追加等の再編を検討したい。

#### 3. 役員会にて

相模湖 芸術・文化のまちづくり実行委員会から1名の推薦を依頼。

また、過去に地域活性化事業交付金を交付していた団体に声をかけて、まちづくり会議への参加の意向を確認する。

令和8年度 地域活性化事業交付金			地区		
			相模湖		
事業等の名称	小原地区元気いっぱい花いっぱい環境整備事業		新規・継続	継続3年目	
団体名	小原草木会		会員数	7名	
全体金額 (単位:円)	520,000		申請金額 (単位:円)	450,000	
過年度の実績と 事業による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>小原ふれあい広場の法面整備 業者に委託し、小原ふれあい広場の法面の整備を行った。</li> <li>小原ふれあい広場の花植えによる景観整備 小原地域の有志を募って、小原ふれあい広場の景観整備のための花植えを行った。</li> </ul>				
事業実施の背景 や 地域の現状と課題	各地に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風により地域の心の拠り所・憩いの場である小原地区の八幡神社の階段が全面的に崩落し、地域住民にとっては暗い影を落としたが、令和6年1月に地域一丸の努力により階段修復工事が完了した。この復興を契機に相模湖と小仏・城山や高尾山を繋ぐハイキングコースであり、小原本陣を核とした小原宿の魅力を最大限に引き出すべく小原地区周辺の環境整備を望む声が地域で高まっている。				
要綱別表該当 対象事業	産業や観光の振興に関する事業（要綱第2条第1項別表第1-4該当）				
優先的な対象事業	公共的な活動への参加者増加（要綱第2条第2項第3号該当）				
事業の目的	上記の状況から地域自治会総意のもと地域の有志を募って「小原草木会」を立ち上げ、小原に訪れるハイカーや観光客へより魅力的になるよう地域の整備を行い、小原地域が活性化することを目的とするものである。 また、現在小原で進めている、中山間地域振興モデル地区の取組と併せた、魅力の創出・発信を行っていきたい。				
事業内容及び 事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>孫山登山道の整備（小原～孫山頂上～明王峠への分岐） この整備を通じて、高尾～陣馬の登山客を誘致できる土壌を形成していく。</li> <li>(1) 雑木の伐採</li> <li>(2) 登山道階段の修復</li> <li>(3) 頂上へベンチの設置</li> <li>(4) 高木の伐採を行う</li> <li>(5) 小原の郷りニューアル記念のトレイルランニング大会の開催</li> </ul>				
次年度以降の 事業計画及び 事業展望	小原地区は、小原宿本陣を中心とした観光（地域）資源の豊富な地区である。一方、少子高齢化が顕著であり、津久井地域（津久井、相模湖、藤野）の重要課題である中山間地域対策を進めて行くうえでも、魅力ある街づくり、住んでみたい街づくり等が欠かせない地域である。そこで、小原自治会総意のもと、地域の魅力向上の一歩として地区内に住む協力可能なメンバーを中心に小原草木会を立ち上げ、まずは、小原ふれあい広場周辺の環境整備を進める計画としました。今後は、これを皮切りに地域の関係団体などとも連携を図りながら、地域の担い手の育成に重点を置いて、小原地区の他の場所においても魅力向上アップに繋がる環境整備を順次進めて行きたいと考えている。				
収入の部			支出の部		
費目	金額	説明	費目	金額	説明
市交付金	450,000		伐採費	390,000円	登山道の雑木伐採の重機
自己資金	70,000		木材処分費	20,000円	雑木処分費
			飲食費	10,000円	ボランティアへのお茶代
			素材費	100,000円	登山道階段費用
合計	520,000		合計	520,000	

令和8年度 地域活性化事業交付金			地区		
			相模湖		
事業等の名称	阿津さくら保全・活性化事業		新規・継続	継続2年目	
団体名	阿津さくら自然を守る会		会員数	9 名	
全体金額 (単位：円)	350,000	申請金額 (単位：円)	300,000		
過年度の実績と 事業による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿津の桜の保全活動。</li> <li>過去に植林した河津桜などを活用した地域イベントでのPRや、地域の魅力を発信するためのプロモーション活動</li> </ul>				
事業実施の背景 や 地域の現状と課題	<p>人口減少や高齢化、若年層の流出などの社会的な要因が影響していることもありますが、これに伴い地域におけるコミュニティの結束力の低下も懸念されています。住民同士の交流が減少していることで、地域の活性化が阻まれ、地域資源が有効活用されていない現状があります。このような状況を打破するためには、諸先輩方が植林した桜などの地域の自然特性を活かした、皆が参加できる取り組みを推進することが必要と考えます</p>				
要綱別表該当 対象事業	産業や観光の振興に関する事業（要綱第2条第1項別表第1－4該当）				
優先的な対象事業	地域における公共的な活動の担い手育成（要綱第2条第2項第2号該当）				
事業の目的	阿津地区の地域振興のために、過去に植林した河津桜などを活用した地域イベントでのPRや、地域の魅力を発信するためのプロモーション活動を行い、地域の活性化を目指す。				
事業内容及び 事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿津地区の地域振興のために、「さくらまつり」に併せて過去に植林した河津桜のPRを行っていく。花見シーズンを盛り上げていくために遊歩道の飾りつけを行っていく（のぼり・提灯の準備、etc）。</li> <li>ポスター等による広報活動。</li> <li>桜の木のメンテや周辺整備。</li> </ul> <p>2026.4月～阿津さくらまつり用の提灯見積・発注 ワンタッチテントの見積・発注</p> <p>2027.2月阿津さくらまつり用ポスター掲示 2027.3月上阿津さくらまつり 諸準備 2027.3月中阿津さくらまつりでのPR</p>				
次年度以降の 事業計画及び 事業展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な継続した桜周辺の整備実施（桜の剪定等）</li> <li>桜の樹木診断</li> <li>桜苗の増殖</li> </ul>				
収入の部			支出の部		
費目	金額	説明	費目	金額	説明
市交付金	300,000		事業費	150,000	提灯、その他
自己資金	50,000		事務費	50,000	ポスター作成、文具、その他
			備品購入費	150,000	ワンタッチテント
合計	350,000		合計	350,000	

令和8年度 地域活性化事業交付金		地区	
		相模湖	
事業等の名称	里山未来デザインプロジェクト@石老山	新規・継続	継続2年目
団体名	自然バカの会	会員数	6名
全体金額 (単位:円)	250,000	申請金額 (単位:円)	250,000
過年度の実績と 事業による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、関口地区の里山などで自然体験等の活動を行い、多くの人の相模湖の自然と魅力に触れる機会を提供してきた。</li> <li>・人の手が入らなくなって荒れた里山の再生活動を行っている。</li> </ul>		
事業実施の背景 や 地域の現状と課題	<p>昨今、日本や世界各地で気候変動や環境破壊・汚染が深刻な問題となっているが、ここ相模湖地区でも台風19号による甚大な土砂災害、また、獣害やヤマビルによる被害の多発、森林への不法投棄の多発などの問題は明らかとなっている。森や自然に関わる人がいなくなり、現在、相模湖地区に限らず、相模原市全域の『里山』は崩壊しつつある。森が放置されたことで森の保水力が低下し、土砂災害の危険性が增大している。他にも、戦後に杉などの針葉樹が大量に植えられ、広葉樹が減少したことも影響し、シカやイノシシ、クマがエサを求めに住宅地まで下り、獣害が増大している。</p> <p>本会は、これら諸々の問題は、公共的な活動の担い手不足や参加への意欲の低下など相模湖地区のまちづくりに関わるあらゆる課題にも影響が及んでいくと考え、今回のプロジェクトを企画するに至った。</p>		
要綱別表該当 対象事業	環境の保護・保全に関する事業（要綱第2条第1項別表第1－5該当）		
優先的な対象事業	地域の公共的な活動団体間の連携強化（要綱第2条第2項第4号該当）		
事業の目的	<p>自然環境の再生や「里山再生」が必要と考える。そのためには、経験豊富な高齢者から緑地の管理や手仕事について学び・教わりながら共同作業で行っていき、「人と人」「人と自然」「世代と世代」を繋ぐ里山を復活させることを目的とする。この『里山再生』活動のフィールドとして、相模湖地区の地主と住民の共同財産である「石老山」を活用する。この活動を通じて以下の4つを目的とする</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、里山の再生を行う。</li> <li>2、『情緒』『音楽的・身体的コミュニケーション力』を磨く。</li> <li>3、若者たちが社会へ『自信』をもって飛び出していく力を育む。</li> <li>4、自然『循環』を次世代へと繋ぐこと。</li> </ol> <p>これらの目的を達成するために「石老山」は重要で貴重なフィールドである。「若者たち一人一人が自律して道を切り開く力を育む」ことができる、そんな若者を応援する温かなまちづくりを目指して、『里山未来可能性デザインプロジェクト@石老山』を行うこととする。</p>		
事業内容及び 事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、関口地区の里山・畑等で自然体験等の活動を行い、多くの人が自然と魅力に触れる機会を提供していく。</li> </ul> <p>通年～ 自然農の作業</p> <p>4月～9月 里山に東屋の建築を行う。</p> <p>4月 歳の前での琴の演奏、畑に春・夏野菜の種まき</p> <p>5月 野菜の種まき</p> <p>5月～6月 堆肥場づくり、</p> <p>5月～8月 畑の草刈り、野菜の世話</p> <p>9月 東屋建前とお披露目会、畑で秋・冬野菜の種まき</p> <p>10月 郷土料理のイベント、畑の冬野菜の種まき</p> <p>11月～2月 森づくり(除伐・間伐、植林) 森の手入れを学び、実践する。果樹や広葉樹を植え、育てる。</p> <p>12月 冬野菜の収穫</p> <p>1月 冬野菜の収穫、土づくり</p> <p>2月 土づくり、畝づくり、種イモの植え付け</p> <p>3月 森づくり(木を生かす木工教室) 春野菜の種まき、種イモの植え付け</p>		

<b>次年度以降の 事業計画及び 事業展望</b>	次年度以降は、地元の理解を得ながら、石老山の里山づくりの活動や、畑作体験イベントを推進していく。 将来的には、活動を進める中で会員を増やし、会費や、会の活動で生産した農作物を利用した製品を販売する等で自立した活動を目指していく。				
<b>収入の部</b>			<b>支出の部</b>		
<b>費目</b>	<b>金額</b>	<b>説明</b>	<b>費目</b>	<b>金額</b>	<b>説明</b>
市交付金	250,000		消耗品費	200,000	石老山の森林や畑の管理道具、燃料代その他、自然体験活動の道具等
			食糧費	7,000	イベント・祭り等の食糧費 講師・参加者のお茶、材料代など
			報償費	40,000	石老山の森林や畑の管理、自然観察会などの講師の報償費
			保険料	3,000	イベント、お祭り等の保険料
合計	250,000		合計	250,000	

令和8年度 地域活性化事業交付金			地区		
			相模湖		
事業等の名称	『小原の奴』継承人材育成事業		新規・継続	継続3年目	
団体名	甲州街道小原宿本陣奴会		会員数	19 名	
全体金額 (単位：円)	650,000	申請金額 (単位：円)	500,000		
過年度の実績と事業による効果	地域の若者をはじめとする市内外に活動の紹介ができ、新たに入会した会員がいる				
事業実施の背景や地域の現状と課題	甲州街道小原宿本陣祭は、県内に唯一現存する小原宿本陣を活用し、江戸時代の歴史文化を後世に伝えるとともに、地域の活性化を図るため、地域住民が団結し創り上げた相模湖地域における一大イベントであり、本年で第30回を迎える歴史ある催しです。しかしながら、本陣祭(奴会)も他地区と同様に人口減少、高齢化により運営等の在り方が課題となっており、青年層を中心とした大名行列の「奴(やっこ)」の担い手を地域から輩出していましたが、後継者の不足が顕著になってきたと感じています。				
要綱別表該当対象事業	地域の文化・伝統の振興に関する事業(要綱第2条第1項別表第1-7該当)				
優先的な対象事業	地域における公共的な活動の担い手育成(要綱第2条第2項第2号該当)				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆『小原の奴(の舞)』の継承活動を通して、地域の活性化を促し、新たな担い手を輩出する。</li> <li>◆地域教育機関と連携し、『小原の奴(の舞)』を次世代に継承する。</li> <li>◆小原・相模湖地区の魅力を外内両部へ発信するため、地域での街頭演舞や他地区へのイベント出演を行う。</li> <li>◆他団体のコラボレーションにより交流を実現し、相互地域の活性化を目指す。</li> </ul>				
事業内容及び事業スケジュール	<p>各種イベントでの活動の紹介やクラウドファンディングにおいてアピールを行うとともに、今回で30回目となる本陣祭大名行列に、箱根町大名行列の礎となった松田町大名行列の奴を招待し、2組の迫力ある奴の共演を披露し、事業の素晴らしさを内外発信し、趣旨に賛同し参画していただける方を発掘する。</p> <p>4月 桜まつり市民パレード 5月 市役所ロビーでの活動展示 9月 本陣祭啓発登山(高尾山) ダム祭(本陣祭告知、活動紹介) 10月 出前授業(北相中学校) 11月 甲州街道小原宿本陣祭(奴演舞等) 八王子いちよう祭り(演舞等)</p>				
次年度以降の事業計画及び事業展望	<p>昨年の本陣祭における来場者へのアンケートの結果から、大名行列の演舞を楽しみに来場した方が多いことから、本陣祭及び本地域の魅力を促すため、令和9年はGREENN×EXPOに参加し、演舞の披露や茶道の体験などを通じて情報発信を展開するとともに、令和10年には出前授業等を充実させ、新会員増加にむけ衣装や備品の充実を図る。</p>				
収入の部			支出の部		
費目	金額	説明	費目	金額	説明
市交付金	500,000		事業費	550,000	松田町とのコラボ
自己資金	150,000		事業費	100,000	各種イベント等
合計	650,000		合計	650,000	

令和8年1月20日

まちづくり会議代表(会長) 殿

相模原市長 本村 賢太郎  
(公印省略)

令和8年度 地区まちづくりを考える懇談会の実施希望等について (通知)

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から市政につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、お礼申し上げます。

さて、令和8年度地区まちづくりを考える懇談会の実施希望等について「1 実施にあたっての留意点」及び別紙「令和8年度 地区まちづくりを考える懇談会 実施要領(案)」をご確認のうえ、ご検討いただき、各まちづくりセンターを通じてご回答いただきますようお願いいたします。

1 実施にあたっての留意点

(1) 実施期間について

7月から翌年2月の間で調整することとし、別添「まち懇日程調整用カレンダー」のとおり、議会期間及び市長公務により1月は実施不可となります。

また、実施曜日は「火曜日・木曜日」が原則となります。

(2) 懇談会開始時間について

平日は午後6時開始、土日祝日は昼間の時間帯となります。

※市長公務等の都合により、開始時間を別途調整させていただく場合がありますのでご了承ください。

(3) テーマについて

テーマの数につきましては、原則一つですが、時間内での運営となることが見込まれる場合は、二つまで可能とします。

なお、テーマ設定については、次の例を参考にしてくださいようお願いいたします。

【適当な例】地域資源をいかしたテーマになっている。

テーマ：〇〇を活かした地域の魅力発信の方法について

テーマ：〇〇跡地の有効活用による地域の活性化について

【適当でない例】広範なテーマに関連性のない地域課題を複数詰め込んでいる。

(4) 懇談内容について

単なる要望や事業説明は、まちづくり会議の場等へ担当する局部長や所属の出席を求めて行うことが可能であり、より迅速な地域課題の解決につながるため、懇談会での単なる要望や事業説明を求める内容は、適当ではないものと考えております。

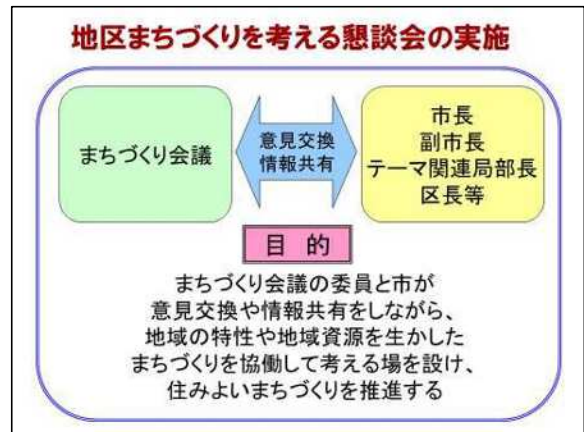
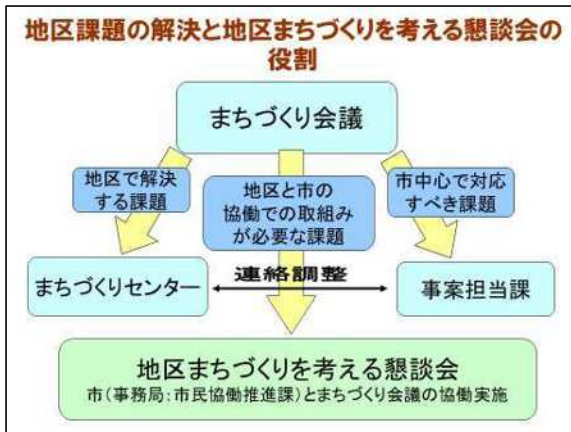
【適当な例】テーマに沿った内容になっている。

〇〇を活かした魅力発信を行う中で、地区と行政の協働で何ができるか

〇〇跡地の有効活用により、地域が目指す未来像について 等

【適当でない例】 単なる要望や説明を求める内容になっている。

(参考) 地区まちづくりを考える懇談会の役割等



以上

市民局 市民協働推進課 市民・地域活動支援班

担当：田頭・玉木

電話 042-769-8226 (直通)

(案)

## 令和8年度 地区まちづくりを考える懇談会 実施要領

## 1 目的

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有をしながら、地域の特性や地域資源を生かしたまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進する。

## 2 本年度の開催方針等

各地区まちづくり会議が市長と地区のまちづくりについて考える「対話」の場を希望した場合に実施する。

また、名称を『地区まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」』として実施する。

## 3 実施単位

実施希望地区のみ年1回1会場までとする。

## 4 実施方法

各地区まちづくり会議と市の協働により実施する。

## 5 開催日等

実施日及び会場は、まちづくり会議と市との調整により決定する。

開始時間は、平日は午後6時からとし、まちづくり会議側からの希望がある場合は、休日の昼間の実施も可能とする。

## 6 進行等

懇談会の進行等はまちづくり会議の代表者等が行い、実施時間は概ね1時間30分とする。

## 7 出席者

(1) 地区の出席者は、まちづくり会議の委員とする。なお、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるものとする。

(2) 市側の出席者は、市長、テーマ担当副市長、区長、テーマに関連する局長(市長公室長含む。)及び事務局長とする。ただし、区長は副区長が、局長は部長級が代わることができ、部長級が設置されていない局については、局長が指定する所属長が代わることができ、事務局長は次長又は指定する職員が代わることができるものとする。また、まちづくり会議事務局の職員、テーマに関連する部署の課長及び職員も出席できるものとする。

※市長の公務日程等で対応できない場合がある。

## 8 懇談の内容

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する(二つ以内)。

## 【テーマの考え方】

ア 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

イ 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

## 9 傍聴

当日受付とし、地区以外の住民も傍聴可能とする。ただし、会場の都合により、座席数には限りがあるため、希望者が多い場合には抽選により、傍聴者を決定する場合がある。

## 10 周知方法

市ホームページ及び地域情報紙にて周知を行う。

昼間の実施にご協力ください。(赤字は祝日を示しています。)

火	水	木	金	土
	1	2	3	4
7	8	9	10	11
14	15	16	17	18
21	22	23	24	25
28	29	30	31	

## 8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

火	水	木	金	土
		1	2	3
6	7	8	9	10
13	14	15	16	17
20	21	22	23	24
27	28	29	30	31

## 11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

火	水	木	金	土
2	3	4	5	6
9	10	11	12	13
16	17	18	19	20

希望月(案)

第1希望 2月

第2希望 11月

第3希望 10月

# 「相模湖芸術・文化のまちづくり」に向けた取組み



～市民の皆さんからのご意見～



2026年2月

相模湖 芸術・文化のまちづくり実行委員会

## 「相模湖 芸術・文化のまちづくり」とは

日本バレエ発祥の地、神奈川県。

その北部、みどり溢れる小仏山地と丹沢山地に挟まれた湖、相模湖。

湖の畔にたたずむバレエ衣装レンタル国内シェアNo.1の地元企業。

こうした歴史や自然環境、地域資源と芸術・文化を愛する地域のひとびとの情熱が結びつきバレエをはじめとした「相模湖 芸術・文化のまちづくり」の取組みが始まりました。

目標は「相模湖に常設の野外劇場」をつくり、相模湖からバレエをはじめとする芸術・文化を全国に発信することで、地域の活性化を図ること。

活動の中心となっているのは相模湖商工会をはじめとする地元の経済関係団体、自治体、地元企業、地方公共団体等で構成する「相模湖 芸術・文化のまちづくり実行委員会」

実行委員会は、2023年10月発足以来、「バレエのまち相模湖」を全国に発信すべく、「バレエ」を中心としたさまざまな事業を展開してきました。

## 「多目的な常設野外ステージ」実現と地域活性化の本格始動！

2025年10月18、19日。実行委員会はその活動に共鳴した神奈川県と共催で相模湖畔に仮設ステージ設け、「相模湖 野外バレエフェスティバル2025」を開催しました。当日は、美しい湖畔を背景に世界的なバレリーナ上野水香さんが舞う「ジゼル」や「白鳥の湖」が披露され、多くの観客を魅了しました。

そして、この「野外バレエフェスティバル」の成功を一過性のものとしなないための取組も広がっています。

昨年11月、相模湖商工会や相模湖観光協会等の地元の団体は連名で「多目的な常設野外ステージの建設を含めた相模湖公園の改修」を神奈川県知事に、「相模湖公園周辺の駅から相模湖公園に至る道路環境整備等」を相模原市長に要望しました。

また、2028年度を初年度とする相模原市総合計画の改定作業を控え、「芸術・文化による相模湖周辺地域の活性化」を同計画に盛り込んでいこうという地元の機運も高まっています。

## 「相模湖周辺に再び賑わいを取り戻すため」の様々なご意見

相模湖周辺を再び老若男女が行き交い、集い、楽しむ地域とすること。

私たちは、今がそのための取組みを一気に加速するチャンスだと考えています。

実行委員会では、今年の「相模湖 野外バレエフェスティバル2025」の開催後、「実行委員会への期待」「相模湖公園を魅力的にする方法」について、住民の方々にアンケートを実施しました。

アンケートに寄せられた意見の内容は、実に多様で受け止めるべき主体も多岐に渡っています。これらの意見には、相模湖周辺に再び賑わいを取り戻すために必要な沢山のアイデアが埋まっています。そこで私たちは、いただいた意見を「行政」や「団体」など、それを実現するために主体となって取り組むべきごとにまとめて多くの皆さんと共有することとしました。

行政や団体におかれては、しっかりと意見を受け止めて今後の施策展開に繋げて下さることを期待しています。

そして市民の皆さんにおかれては、今後も様々な場面で「より良いまちづくり」に向けて積極的に声を上げていきましょう。そして「芸術・文化のまちづくり」にぜひご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

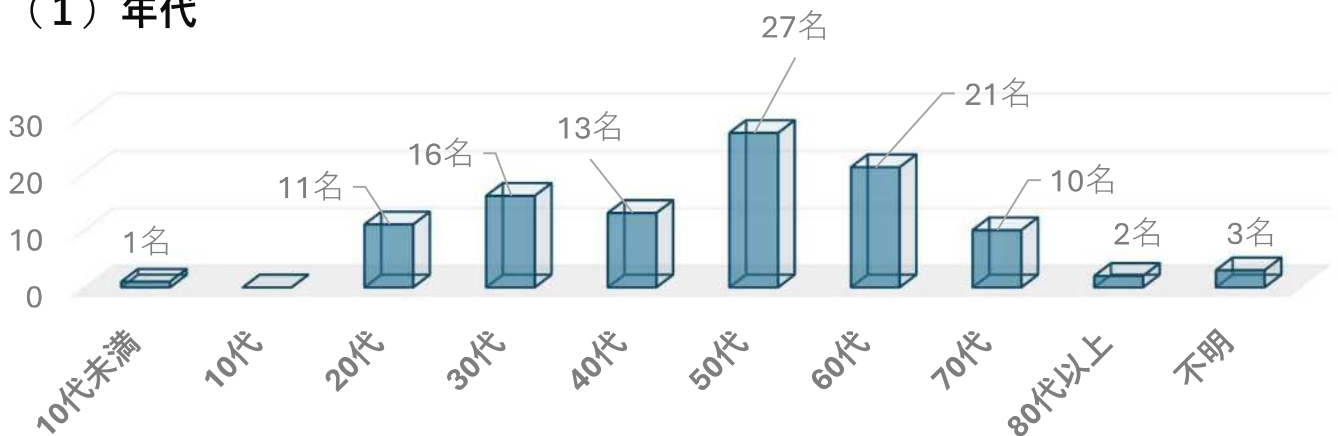
# 芸術・文化のまちづくり調査アンケート

## 1. 《調査概要》

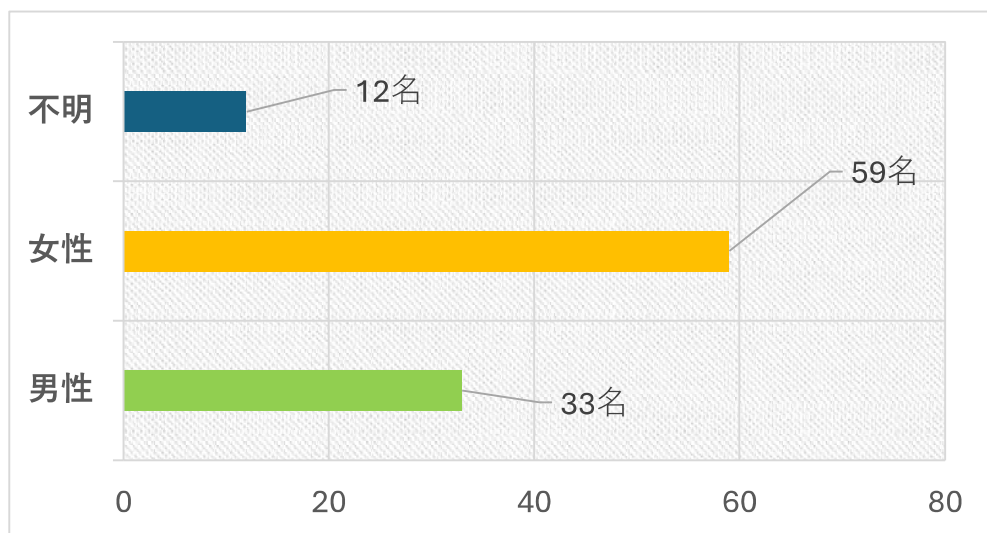
1. 調査対象期間：令和7年11月19日～12月12日
2. 調査対象：相模湖地区の一般住民
3. 調査方法：相模湖地区自治会への全戸配布及びWEBサイトにてアンケートフォーム調査
4. 回収方法：相模湖公民館、千木良公民館、相模湖リフレッシュセンター、相模湖商工会、相模湖観光協会での回収BOX設置及びWEBサイトでの集計
5. 回答者数：104名 ※期日対象期間外は含まない

## 2. 《回答者属性》

### (1) 年代



### (2) 性別



## 3. 《設問》 (各々自由記載)

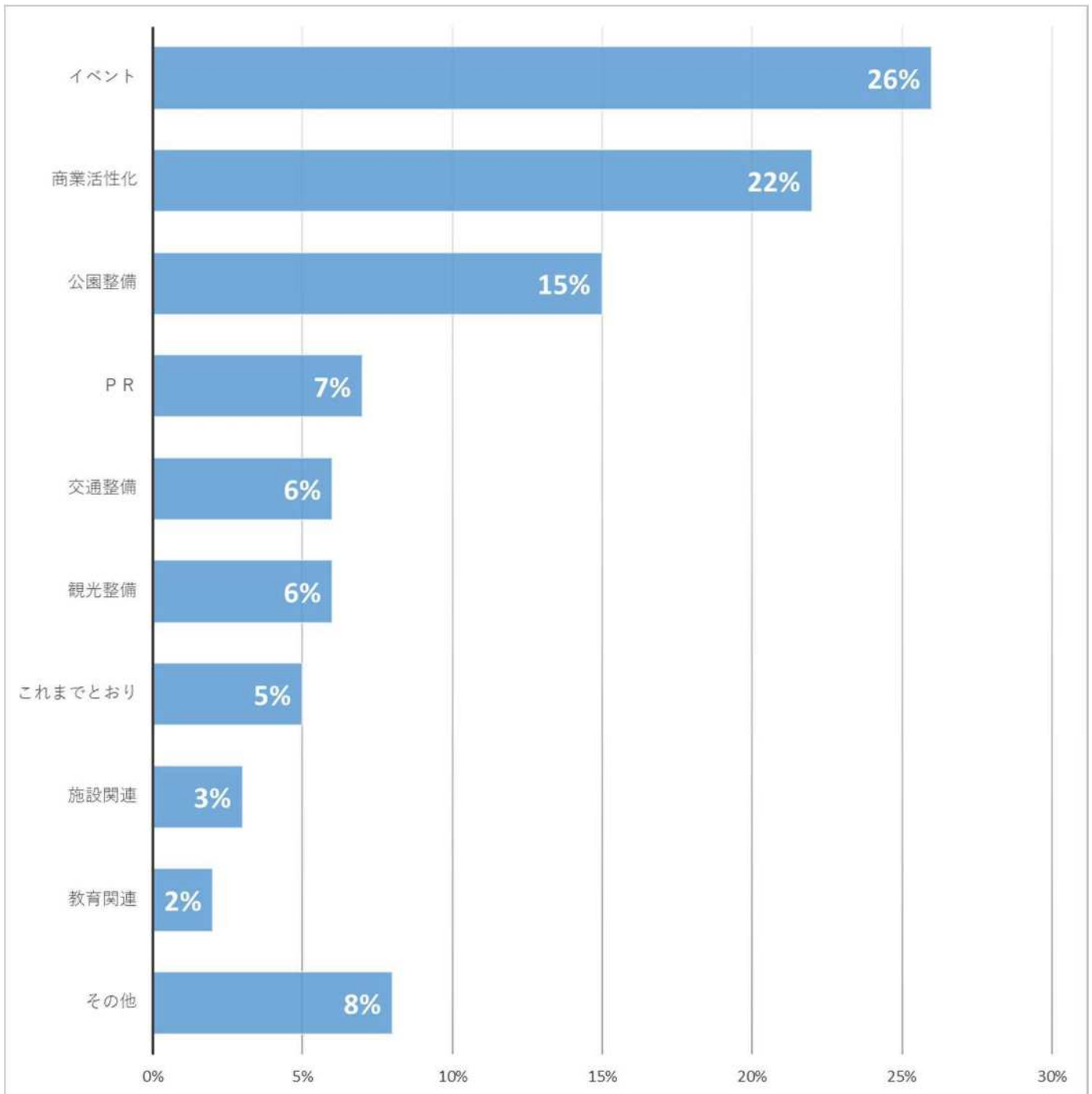
- (1) 相模湖 芸術・文化のまちづくり実行委員会に今後、期待することは何ですか？
- (2) 相模湖公園をもっと魅力的な公園にするにはどうしたらいいと思いますか？

## 4.調査結果

### (1) 設問別・回答別構成率

ア) 質問① 相模湖 芸術・文化のまちづくり実行委員会に今後、期待することは何ですか？

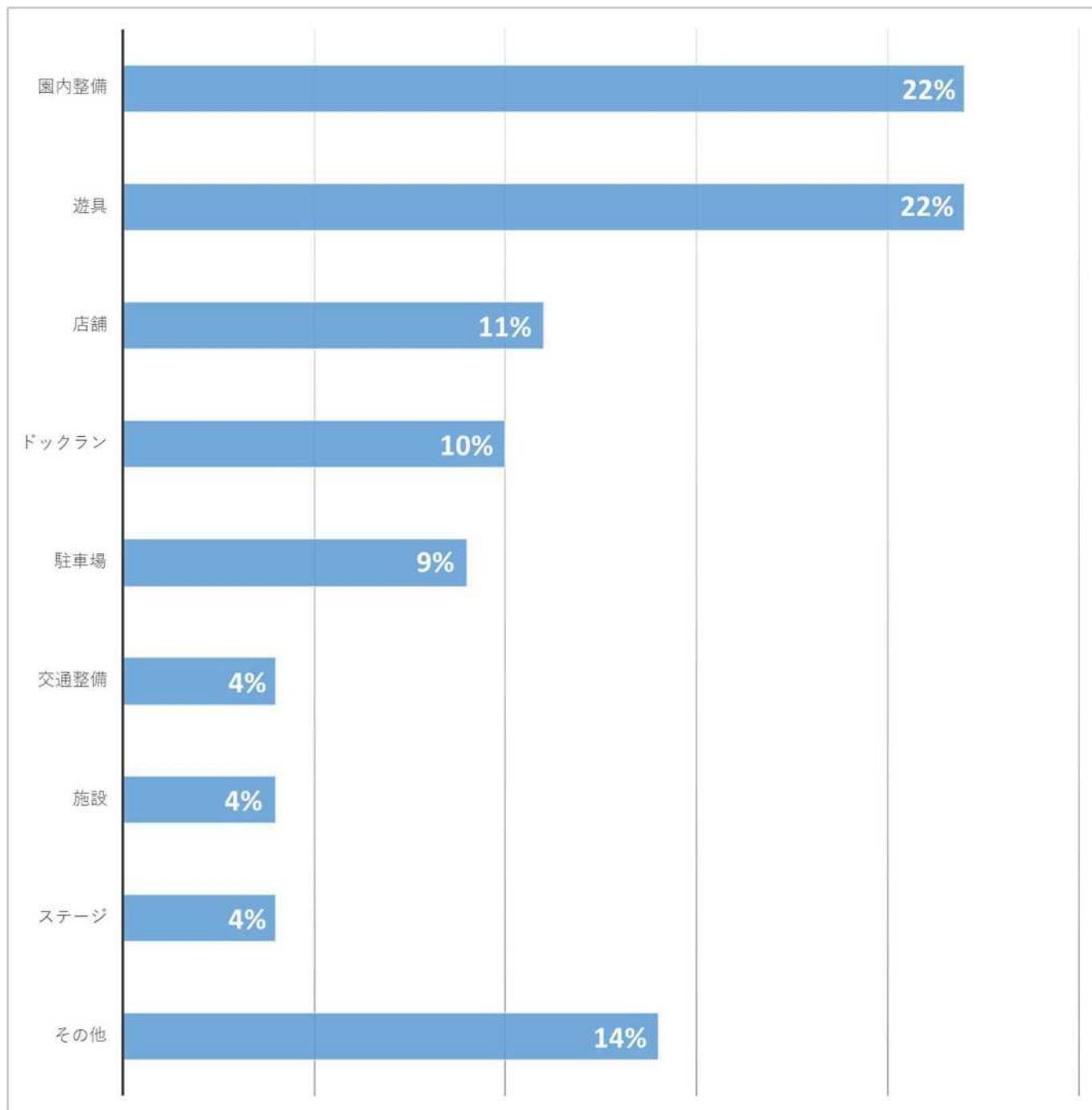
※回答を内容毎に区分



## 4.調査結果

### (1) 設問別・回答別構成率

イ) 質問② 相模湖公園をもっと魅力的な公園にするにはどうしたらいいと思いますか？  
※回答を内容毎に区分



## (2) 回答内容詳細 (対応が期待される主体別)

いただいた意見を実現するには、行政をはじめ様々な主体が積極的にその役割を果たしていただくことが求められます。そこでここではご意見を内容毎に区分したうえで「対応が期待される主体毎」にまとめてみました。

※重複した案件は、まとめて記載

※意見が各団体に重複する場合はそれぞれの意見に記載

※個人等への意見はプライバシー保護により不記載

### ア) 行政 (県・市)

#### (a) 県立相模湖公園整備に関すること

- ・公園施設の修理等を進めリニューアルを進めてもらいたい。
- ・公園トイレの改修
- ・障がい者にも過ごしやすい公園
- ・公園内にベンチ、テーブルの常設化とシンボルの設置
- ・公園内に遊具の設置
- ・公園藍の遊歩道の整備
- ・公園の駐車場の拡大
- ・公園のWi-Fiやワーケーション設備の整備
- ・駅から湖畔まで洒落た小路にしてわかりやすくしてほしい
- ・ドックランがほしい
- ・MORIMORRIと共同企画した湖を活かしたアトラクション
- ・子どもや大人が利用できるステージの設置
- ・駐車場の拡大と整備
- ・駐車場の無料化
- ・暑い日でも寒い日でも過ごせる屋根付きの設備
- ・バスケットコートの新設
- ・BBQ施設の新設
- ・トイレの増設及び整備
- ・営業時間(駐車場)の延長
- ・湖を一周できるサイクリングロードの整備
- ・ハイキングコースの案内板の増設やライトアップ
- ・公園内の机、ベンチの増設

#### (b) イベントに関すること

- ・神奈川県と相模湖の文化芸術のコラボ

#### (c) その他

- ・相模湖東の都内方面の入口の設置

## イ) 行政 (市)

### (a) 交通環境に関すること

- ・ 駅前、国道十字路、湖畔までの歩道整備
- ・ 電車、バスの増便や駐車場を増やしてほしい
- ・ 各場所にあと「何Km」といった看板がたくさんあるといい
- ・ 駅から公園まで藤野芸術村とコラボした洒落た小路にしてわかりやすくしてほしい
- ・ 湖畔まで行ける交通手段がほしい
- ・ 周遊道路を整備し町を活性化してほしい
- ・ 市、イベント企画者と連携して交通等の環境整備を行う
- ・ 湖が周回できるような道路整備
- ・ 電車の本数を増やしてアクセス向上をしてほしい
- ・ 湖畔入口付近に押しボタンの信号機の設置
- ・ 駅から交流センターまでの道路を魅力的なものにしてほしい
- ・ 湖を一周できるサイクリングロードの整備
- ・ 高尾山までの格安送迎バス

### (b) 施設に関すること

- ・ 駅前を素敵空間になって降りてみたい駅にしてほしい
- ・ 相模湖ふれあいパークをリニューアルしてほしい
- ・ 大きく立派な図書館を作ってほしい
- ・ 駅前トイレを改札近くに移設してほしい
- ・ 駅前アーケードを新しくしてほしい
- ・ 市民プールを作ってほしい
- ・ 駅前に喫煙所を設けてほしい

### (c) その他

- ・ 若い人が住みたいと思うところにしてほしい
- ・ 住宅子育ての充実
- ・ 人口増加にも力をいれてほしい
- ・ 道の駅のような地元野菜や菓子類の販売
- ・ 診療所の統合やバス減便への対応など安心したまちづくりを考えてほしい
- ・ 駅から相模湖を連想する音楽が流れてほしい

## ウ) 相模湖商工会

### (a) 商業活性化に関すること

- ・ 駅前商店街の再編成
- ・ 若者が集まるような人気店や美味しいグルメ店等を多く誘致してほしい
- ・ 町おこし
- ・ 商店街の活性化
- ・ 湖畔商店街も元気に明るく接客を希望します。
- ・ 商店街にパン屋、カフェなどオシャレな雰囲気になればいい
- ・ コンビニがあり、仕事終わりでも行けるような時間帯営業をしてほしい
- ・ お店を増やして若者がたくさん来るような街づくり
- ・ 駅から湖畔まで遠く途中に休む店がない
- ・ 相模湖、内郷、藤野近辺に飲食店を増やしてほしい
- ・ 人を引き付ける商店としてリニューアルしてほしい
- ・ 商店街を盛り上げてほしい
- ・ オシャレなカフェを作してほしい
- ・ 夜遅くまで営業してるお店がほしい
- ・ 駅前にコンビニがほしい、電車待ちやバス待ちができる
- ・ 新しいお店や飲食店が始めやすい環境づくり

### (b) 施設整備に関すること

- ・ 音楽やダンスのスクールがあればいい
- ・ 多く立派な図書館を作してほしい
- ・ 湖の駅といった商業観光施設の新設

### (d) イベントに関すること

- ・ 企業が出資してくれるようなイベントづくり
- ・ 足こぎボート大会の知名度を上げて全国に広げてほしい

### (e) その他

- ・ 移住者に対して通学通勤者の利便性を

## エ) 相模湖観光協会

### (a) 観光及び公園整備に関すること

- ・ 観光スポットを盛り上げてほしい
- ・ イルミネーションを駅前から湖畔、MORIMORIまで繋げてほしい
- ・ 特徴的な看板があちこちにあるといい
- ・ Wi-Fiやワーケーション設備を整備してほしい
- ・ 駅から湖畔まで洒落た小路にしてわかりやすくしてほしい
- ・ イルミネーションをもっと本格的にやってほしい
- ・ 湖畔回りの歩道の地図をSNSなどにアップしてほしい
- ・ 高尾山とコラボして観光客を呼び込む
- ・ バレエのまち相模湖として公園入口にバレリーナの看板を建てる
- ・ 公園内の喫煙スペースがほしい
- ・ ドックランがほしい
- ・ MORIMORIと共同企画した湖を活かしたアトラクション
- ・ 子どもや大人が利用できるステージの設置
- ・ 駐車場の拡大と整備
- ・ 駐車場の無料化
- ・ 暑い日でも寒い日でも過ごせる屋根付きの施設整備
- ・ バasketコートの新設
- ・ BBQ施設の新設
- ・ トイレの増設及び整備
- ・ 営業時間（駐車場）の延長
- ・ 湖を一周できるサイクリングロードの整備
- ・ ハイキングコースの案内板の増設やライトアップ
- ・ 公園内の机、ベンチの増設

### (b) イベントに関すること

- ・ 地元の人を楽しめるイベントを計画してほしい
- ・ 都心から集客力のあるイベントをしてほしい
- ・ 何かに特化したイベントを開催してほしい
- ・ 地区での催しと区別した音楽フェスを開催してほしい
- ・ 劇団や手品ショーを開催してほしい
- ・ 相模湖地区がさらに認知されるようにニッチな企画をしてほしい
- ・ 公園でマルシェを開催してほしい
- ・ 焼き芋フェス、肉フェス、鍋フェスなどを開催してほしい
- ・ キッチンカーなど地域内外から都会に一番近い相模湖として企画してほしい
- ・ 子ども向けのイベントを開催してほしい
- ・ アーティストのライブをしてほしい
- ・ ライブ他多目的に利用できるステージの設置

### (c) 交通整備に関すること

- ・ 高尾山までの格安送迎バス

### (d) その他

- ・ 若者が集える場所がほしい

## オ) 相模湖 芸術・文化のまちづくり実行委員会

### (a) PRに関すること

- ・紅葉の季節にイベントを開催してSNSで発信してほしい

### (b) イベントに関すること

- ・バレエ公演はもう少し手軽な値段にしてほしい
- ・子どもたちや一般の方でも自分の作品を発表できる場にしてほしい
- ・アイドルのライブをしてほしい
- ・野外公演を続けてほしい
- ・都心から集客力の見込めるイベントを開催してほしい
- ・公演における会場づくりの配慮をしてほしい
- ・更にニッチな企画を続けてほしい
- ・都会ではできない小さな芸術・文化のイベントを開催してほしい
- ・小中学生、園児なども体験できるイベントをしてほしい
- ・ゲネプロから観れるといい
- ・相模湖地域で活動している各種団体と一緒にイベントをしてほしい
- ・地域住民に向けてもっと格安で解説付きの公演イベントをしてほしい
- ・芸術・文化に食を追加したイベントを企画してほしい

### (c) その他

- ・若者が集える場所がほしい

## カ) 地域住民ができること

- ・昔、おじいちゃん、おばあちゃんが縁側で話をして笑っていた。そんな気軽に話せる場がほしい。そんな街にしてほしい。
- ・相模湖地域で活動している芸能文化の市民団体を一同に会して発表会を開催できたら相模湖地域の活性化になると思います。

相模湖 芸術・文化のまちづくり実行委員会  
委員長 小川 喜平

お問合せ：実行委員会事務局 井川・小笠原  
電話042-684-3347